【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公開番号】特開2009-69728(P2009-69728A)
【公開日】平成21年4月2日(2009.4.2)
【年通号数】公開・登録公報2009-013
【出願番号】特願2007-240526(P2007-240526)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　21/00　　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　21/14　　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　 5/74　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　21/00　　Ｄ
Ｇ０３Ｂ　21/14　　Ｅ
Ｈ０４Ｎ　 5/74　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成22年4月19日(2010.4.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７７】
図６に示すような建造物の階段に本実施形態における画像表示装置１０を適用する場合、例えば階段の踏み面２０ａに、第１の投影面の投射画像を透過させた画像を表示するように第１のスクリーンＳＣＲ１が設けられ、踏み面２０ａが第１のスクリーンＳＣＲ１となる。図６では、階段の踏み面２０ｂ、２０ｃにも、踏み面２０ａと同様のスクリーンが設けられる。また、例えば階段の蹴込み面２２ａに、第２の投影面の投射画像を透過させた画像を表示するように第２のスクリーンＳＣＲ２が設けられ、蹴込み面２２ａが第２のスクリーンＳＣＲ２となる。図６では、階段の蹴込み面２２ｂ、２２ｃにも、蹴込み面２２ａと同様のスクリーンが設けられる。即ち、踏み面２０ａが図１の第１のスクリーンＳＣＲ１、蹴込み面２２ａが図１の第２のスクリーンＳＣＲ２、踏み面２０ｂが図１の第３のスクリーンＳＣＲ３として機能することができる。そして、階段の内側に、蹴込み面及び踏み面の投影面に投射画像を投射する投射手段としてのプロジェクタが配置される。この場合、プロジェクタは、複数の蹴込み面に投射画像を投射したり、複数の踏み面に投射画像を投射したり、複数の蹴込み面及び複数の踏み面に投射画像を投射したりする。このような階段に画像表示装置１０を適用することで、新しいサイネージ用途の画像表示装置を提供できるようになる。